

乳歯と永久歯のこと

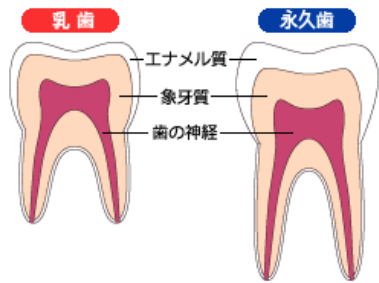
乳歯の時期は、とても大切です！

「歯の健康教室」は、スマートフォンでもご覧いただけます。



●乳歯は白いけれど、永久歯は黄色い？

歯が生え変わる時期で、乳歯と永久歯がまじっていると、永久歯が黄色く見えることがありますが、皆さん同じで、自然なことなので心配ありません。



●乳歯は、永久歯よりひとまわり小さい？

アゴは噛（か）むとによって刺激されて発育しますので、これから生えてくる大きな永久歯のために、小さな頃から「硬いものだけでなく、よく噛んで食べる習慣をつける」ことや「ムシ歯を作らない」ことが、キレイな歯並びになる一番の秘訣です！

●乳歯の方が、永久歯より柔らかい？

エナメル質・象牙質ともに、乳歯の方が永久歯より薄いために、乳歯のムシ歯は早く進行してしまいます。規則正しい食生活と仕上げ磨き、定期健診、フッ素塗布などで、小さな頃からムシ歯を予防しましょう！

●乳歯と永久歯の本数は違うの？

乳歯は上下それぞれ 10 本ずつ（合計 20 本）で、永久歯は上下それぞれ 14 本ずつ（合計 28 本：親知らずを含めると合計 32 本）です。ごくまれに、となりあった歯同士がくっついていたり（癒合歯・癒着歯）、本数が多いこと（過剰歯）や、少ないこと（先天性欠損）がありますが、日常生活で不自由がなければ、特に心配することはありません。

